

<北の便りー1, 452ー>2017. 12. 1 版

チェンライRCパスト会長便り

「積善箱」でアカ族子供支援 今日のはかつて例会卓話をした京都東ロータリークラブの話。京都ウエスティンホテル会場には多くの会員が会場の席を埋めた。式次第は1分の狂いもないほどに精緻に進行。開会に先立ち会長さんから私に「卓話時間は1時27分までですが、皆さんお待ちかねのスピーカーですので1分オーバーの28分までどうぞ」と。その微妙な時間延長が伝統と格式あるクラブか、と学ぶ。無事に時間内で卓話を終えた。そんな中にも、パスト会長が優しい。私の著書「輝く瞳に会いに行こう」を紹介されていた。購入者の中に1人、10冊を買い求めた会員がいた。名刺を頂いた。なんと「京都大学名誉教授」の肩書を持つ西本氏だ。彼が半年後に、同クラブ主催「国際フォーラム」で、私に再度講演依頼をされた。その後彼は同クラブ内に「積善箱」を設けて、先頭に立って「アカ族子供支援」に出た。今でも支援は続く。

